

刊夕 日九廿月八



定額一冊五錢 一月五拾錢 郵税五錢  
廣告料五號十二字第一行五拾錢  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日印刷株式会社

### 山雀 (下)

先村生

この山雀は一日の飼育で完全に私のものになった。指の上にとまつて落花生を食べる。唇を啄いてビスケットを強請する。机の上で用事をしてゐると、鉛筆やペンを啄いて見たり、指に棲つて見たり、肩へ來たり耳を引張つたりする。少し大きなものは必ず何處かの隅か孔へ持つて行つてかくして置き、それを又不思議によく記憶してゐる。もとより中西君の訓練に依つてさういふ風になつてゐるのであるが、私のやうな何も知らないものにもこの様に懐くとは思はなかつた。

二日経ち、三日経つ中に、私は山雀の言葉の三つ四つは覺えたやうに思ふ。「お家へお入り」と言へば、結

### ノート

普通ビス  
トルは五  
米離れる  
となか／＼中りにくい無  
抵抗を表示するのでなけ  
れば一目散に逃げて大抵  
成功する

局は黙つて鳥籠へ歸る小さなものゝ、従順な姿を見る  
と、これまでついで覺えな  
かつた愛情がこみ上げて來  
る。それと共に山雀を飼つ

て見て始めて知つたことの中には、人間と他の動物とを分つ明確な分界線があつた。その第一は火であり、火食である。希臘神話にある通り、プロオメテウスがゼウスの火を盗んで人間に教へてよりこのかた人間は他の動物とは別の世界に住

◇ 明日の献立 ◇  
【朝】 味噌汁——豆腐  
小付 鹽から

【晝】 龜甲焼き——なす  
花かつを

【晚】 ひや奴 花かつを  
千種揚 さつま芋  
蓮根 なたまめ

むことになつた。論より證據、私の山雀はコオヒイを飲まうとはいはない。何故そんなに熱いものが好きなのだらう」と言ひさうな顔をして首をかしげながら、こちらの顔を、凝視してゐる。第二に山雀の最も恐れるのは人間の手だ。これもシベングラアの言つてゐる通り、自然を克服したものは人類の文化であり、人類文化の第一歩は手の文化であるから、恐れるのも無理はない。私は自分をもとよ

り、子供たちにも決して手を出してはいけないと言つて聞かせた。さうして山雀



### 短歌

森みのる

青木立風にうたれてなげく時そこはかたなく物ぞ悲しを

新樹の初蟬の聲茂くして匂ふ若葉の露あさみどりゆく秋の日影うつしてひそまりぬ午後の校舎の西向きの窓

ひねもすの木枯止みて寒けきに着物重ぬるこの夕なり

霧こめし銀座通の朝まだき魚河岸へ行く自動車通り

青黒き枯竹の垣めぐらせる冬の我が家に朝日さすなり

朝日出でて明るくなれば電線の雀の聲が楽しく聞ゆ

ふるさとの停車場近し可懐しき河原のどてを大走る見ゆ

夕ぐれのうちすらすら靡さあふ枯草原になく鳥のこえ

### 耳鼻咽喉科専門

平田町 (電話六九一番)

病室完備  
自炊便有  
山内醫院  
醫學士 山内亨吉

### 喜多流謡曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

喜多流 謡曲 仕舞 白土會

◇ 詳細は本會へ御問合せ下さい 電一二七番

### 盛夏の宵

御散步のお歸りには  
愛飲家諸氏の爲に生れた

酒の家の喜多八へ

是非一度お立ち寄り下さい  
大衆的酒場 素人小料理 酒の家 喜多八

平町世界館前(丸新デパート)



玉屋洋品店  
平町町通電話六五六番

### 店員募集

年齢十五、六才、希望者は至急來店あれ

### 是非!

御融通には御利用下さい  
萬事便利な御相談に應じます

三井質店  
平四・電六〇六番

### 幼稚園保姆採用

一、資格 高女卒業の方 壹名  
一、希望者は履歷書をお送り下さい。  
面會日をお知らせ致します。

平町十五丁目二六

私立 認可 清風幼稚園

### 外科全般

(特ニ内臓外科、泌尿、性病科)

醫學博士 渡部 義夫  
小兒科、内科女 渡部 さい子

平町役場前 [電話二七七番]

### 渡部外科

入院應需

診療午前八時ヨリ午後九時マデ

### 開業

内科一般 川井安子

川井内科診療所

平町南町六五(舊居)  
電話 二四三番

### 獎勵の調子に

## 乗り過ぎて

### 却て損を招く

#### 小麥相場暴落に

#### 増産農家大こぼし

石城販賣利用組合平農業者では現在保管中の小麥千五百餘俵を来月一日午前十一時より共同販賣に附するが本年郡下の小麥生産額は縣獎勵の自力更生對策として各村共増收を圖つた結果本年は一萬俵以上の増收を來し平農業者のみで昨年販賣せる小麥は三千九百十

### 未だく開拓の

## 餘地がある

#### 若松郡山には及ばぬ

### 簡保加入比率

#### 有権者は

#### 二割増加

#### 下院選舉名簿

昨報平郵便局管内の簡易保險契約高二萬三千三百一十一名二百六十七萬七千四百七十六圓九十錢を管内人口四萬八千七百卅四名に比較すると平均の四割三分七厘で若松、郡山市の五割に比較しては幾分加入成績が落ちて居ると、管内町村の加入率は左の如くである  
(平)五割八分四厘(平窪)三割四分四厘(飯野)三割二分九厘(神谷)三割一分八厘(高久)二割八分四厘(好間)二割五分四厘

### 海軍志願

#### 申込締切改正

海軍志願兵の募集は例年二月末から三月上旬を期間とされてゐたが今回同施行を改正されて十月三十一日を以て締切ることになつたの

### 買手僅かに一名

#### 餘りに惨い暴落振り

#### 昨日の四倉市場

四倉市場昨廿八日の初秋商取引は總數千六百八十圓に及んで最高十七圓十錢、最低十一圓、馴十五圓七十錢

### 平窪梨木品評

#### 本炭組合總會

本炭組合總會では来月九日平町團體事務所總會を開き前年度決算及び製産事業の指導獎勵法を協議し賦課金未納の整理も行う筈

### 榮林對抗練習

林署野球部では来る九月九日双中球場に於て濱三郡營林署對抗軟式野球大會が開催されるので目下猛練習中である

### 初秋の夜を彩る

初秋の鐵田河畔の夜を彩る鎌田青年分團主催の「燈籠流し」は愈々今晚に迫つた

### 籠場の瀧附近に

## 紅葉を讃ふ建碑

#### 故大町桂月氏の碑文成る

#### 信號所に假ホーム

既報平窪では来月下旬頃から盛んになる川前村夏井川溪谷の紅葉狩に大いに期待をかけ江田信號所に假ホームを設置し旅客及び團體の吸収に努めるが本年は四月以來小川、赤井、川前等の三村長が發起で明治文壇の

### 各種大會も終り

#### 平商運動部が慰安會

平商では去る二十四日より三日間仙臺市に於て開催された關東北、北海道中等學校庭球選手權大會を最後に今年度の大會も全部終つた

### 青年体育の申込が

## 未だ一つもない

#### 締切は一週間後に迫る

既報来る九月十六日警中グランドに開催される石城聯この催しは鎌道殉難者供養の爲めに例年舊七月二十日に舉行されるのであるが近年は十數發の仕掛け花火の壯觀、數百の華麗優美な燈籠船などに東都の「兩國川開き」をしのばせて盆踊り後一清涼劑に鎌田青年團の

### 合青年團主催郡下各青年團

對抗體育大會の出場申込みは来る九月五日であるが既に締切が一週間後に迫つた今日未だ申込み一ヶ處もなく今年の大會は振はぬのではないかと憂慮してゐる

### 法曹野球大敗

平法曹團對營林省の野球試合は昨日午後二時より平商球場で行つたが十三對一のスコアで法曹大敗した

### 平町人事

回出生 立町九二 鈴木榮吉氏二男敬二郎さん  
回婚 嫁 鎌田町三三 子之松氏四女佐藤ヨシノ(一一)さん  
東京市足立區本木町二丁目二〇二三 遠藤吉四郎

### 木村科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番

氏(三三) 八幡小路五八 鴻池正恒氏(二五)六間門五祐英氏 妹東條ヒサ子さん(一一)

回死 亡 南町三二 當時樺太豊原郡豊原町大字豊原字東二條南二丁目二高橋弘さん(三三)

△鍛冶町六 菅本松治さん(五九)

# 夫婦愛の

## 倦怠期から 遂に訴訟沙汰

### 無情な亭主に慰藉料請求

植田町大字小濱字濱四目下  
玉川村大字島字島一七小泉  
直衛氏方大友ツヤ(三)さん  
は本日大嶺辯護士を代理人  
とし自分の亭主植田町大字  
小濱字濱四大友信愛(三)氏  
を相手取り離婚並に慰藉料  
七百五十圓の請求訴訟を提  
起したが

### 訴状の内容は

去る四年十二月結婚以來今  
日迄六ヶ年間實直に魚商や  
農業を営み其間長男信一迄  
擧げたが近頃被告は「お前  
の様な者に食はせて置くの  
も勿体ない」と出て行け  
がしの

### 仕打の揚句毎日打つ

驟る驟るの暴行に我慢強い  
原告も居たしまらないので  
實家に逃げ歸つたものゝ子  
供もある事として人を介して  
復縁を求めた處頑とし聞入  
れず自分は子供一人を抱へ  
た上に目下妊娠五ヶ月の身  
重で

### 再婚は出来ず

て何時迄も兄の世話になつ  
てゐるのも心苦しく何とか  
自活の道を構じたいとの理  
由で前記訴訟に及んだもの  
である

# 探す妹は

## 半月前に鞍替え

### 病床に待ちわびる母親

去二十七日平署人事相談所  
に出頭した漁夫体の男が  
「瀕死の床にある母がいま  
わの際に一眼娘に逢ひたい  
といふから娘を探して下さい  
」と嘆願するので

### 事情をきくとこの男

は宮城縣木吉村大字大谷字  
三島小野寺ヨ長男幸七で  
母親ヨは去月十五日から

病床に就き二年前に行方  
不明となつた娘イッ

### 不明となつた娘イッ

(三)を思ひ出し「會ひたい  
會ひたい」とせがむので各  
方面を探ねたところ小名濱  
町の料理店にあららしいと  
判り願出たものと判明した  
ので同署では

### 同情し直ちに小名濱

町を調査した處同町料理店  
紅林こと肥田木イシ方に酌  
婦として住込んでゐた小野  
寺レイ(三)が年齢も原籍も  
一致してゐるがその女は去  
る十四日

### 助川町 某料理店に鞍

替へしてしまつたので同署  
では助川署に調査を依頼す  
ることになつたが或はイッ  
は悪周旋屋の手にかゝり暗  
の世界を轉々してゐるので

# 宅地の名儀を

## 自分に變へて

### 養子行方を晦ます

平町立町九〇青物商十三養  
子清原國治(三)は去る二十  
一日午後六時頃平窪村方面  
に野菜買出しに行くと稱し  
たま、翌朝になつても歸宅  
しないので心當りを探ねた  
が皆目行方が解らず自宅に  
は同人の名儀に變更された  
宅地書類賣掛け代金等が紛  
失してゐるので初めて家出  
と判明昨二十八日平署に捜  
索方を願出たが國治は去る  
三月ナミがたつた一人の實  
子が死亡した爲めに養子に  
迎えられたものであるがナ  
ミ名儀の宅地が何時の間に  
か國治名儀に變更されたの  
を最近になつて発見しナミ  
はどうせ財産は相續させる  
のだからとそのまま放任し  
てゐた爲め遂に財産目當て  
の養子に裏切られるに至つ  
たものである

# 赤井煉瓦

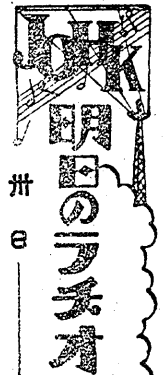
## 今曉焼く

### 竈から失火

二十九日午前三時頃赤井村  
大字赤井警城耐火煉瓦工場  
竈附近から失火、火は忽ち  
燃え廣がり大事に至らんと  
したが消防組必死の活動で  
同工場一棟京半焼同三時四  
十分鎮火したが附近には赤  
井驛を控へ一時は大騒ぎを  
演じた、損害約六十餘圓原  
因は地下三尺の處にある竈  
に一晝夜十四トンの石炭を  
焚たため高度の熱により煙  
突の傍らにある木柱から發  
火したものと判明したがな  
ほ平署では同工場竈番人清  
野惣吉(六)を召喚失火罪と  
して取調べ中

### 裁判所たより

▽内郷村大字小島字作田四  
木村廣吉氏方日雇馬騾生  
れ前科七犯内田鶴吉(七)に  
對する窃盜及び強盜傷人事  
件は本日陪審裁判辭退の申  
立をしたので近く平支部に  
於て中島裁判長係り關口、  
香西兩判事陪席清田檢事立  
會の下に公判開廷される  
△植田町大字植田字金畑一  
四佐藤久四郎氏方自動車運  
轉助手小林三郎(三)は去る



### 明日の天気

今晩も明日も南  
東の風天気次第  
に悪くなる

### 今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間  
お話「南島の輝き」立石尚  
純
- 後六、二五 講演「私の体  
験せる歐米の飛行旅行」  
淺野良三
- 後七、三〇 趣味の話藝談  
はないかと見られてゐる

### 明日の

- 前六、三〇 夏期英語講座  
(三の八)終 清野鶴一郎
- 前七、二〇 聖典講義  
文學博士 宇野 圓空
- 前七、四〇 六年生のおさ  
らひの時間「理科」(第  
四日) 鈴木 盛
- 前八、〇〇 夏期講習「和  
歌の道しるべ」  
花田比露思
- 前九、一〇 料理献立  
濱田政太郎
- 前一〇、三〇 郷土料理

- 「岡山壽し」岡 長子
- 後六、〇〇 五 明清樂
- 後六、〇〇 子供の時間  
漫畫劇「吾輩は犬である」  
漫畫劇場
- 後六、二五 講演「繪と地  
震」東北帝大教授理學博  
士 中村左衛門太郎
- 後七、三〇 趣味の話「藝  
談十二選(九)吉田繁三  
後八、〇〇 交響長唄樂  
「鶴龜」日本放送交響樂團
- 後八、三〇 琵琶吉村岳城
- 後九、〇〇 歌謡曲

### 天福寺施餓鬼

草野  
村北神谷地内法輪山天福寺  
の施餓鬼法要は九月二日執  
行當日は念佛講中の念佛踊  
や御詠歌會等の外ジャンガ  
ラ踊もあるので人出を豫想  
されてゐる

# 拐帶金で急造紳士

### 高飛びの途中平署に捕る

二十日午後十一時半平署前  
を徘徊中の背廣服の男を平  
署員が舉動不審で引致取調  
べた處右は群馬縣勢多郡東  
村大字小夜戸生れ近藤定邦  
(七)假名で昨年夏以來同郡  
里保根村水澤驛前雜貨商小  
林惠壽計方に奉公中たる二  
十二日女主人から仕入物代  
金として預かつた五十六圓  
餘に目が晦んでそのまゝ横  
領家出洋服、腕時計等を新  
調して紳士になりすまし北  
海道方面に高飛びの途中亡  
父の第二の故郷に立ち寄つ  
た所を逮捕されたものと判  
明した

# 看護婦急派

### の求めに應

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

# 平看護婦會

平町南町  
電話三〇七番

# 浮名の比喩

## 近斬音頭

(續前上段及上巻)

田邊南龍(作)  
山本英春(繪)

…二〇…

只一度の牢破り  
『巧く考へたなア、それから何うした』

『その翌晩ドン／＼車軸を流すやうな雨でございませうから、それを幸に一本牢格子を破りまして出やうとしたがこの通り肥つて居りますから出られませんによつて、また一本折りましたら一緒に這入つて居た人殺したの泥棒が、好い事をして呉れた辱ない／＼と云つて皆んな出てしまひました、私もそこを出て明け方になつて家へ戻つて参りましたら、親父さんも阿母も驚きまして何うして来たかと申しますから、かう／＼牢を破つて来たと申しましたら、憎い奴だ御役所へ出さなければならんと云ふと、阿母が折角親に逢ひたいと思つて来たものを、豈夫御役所へ突出しもされない、お金を遣るから播州の叔父の所へ潜んで居ると云はれまして阿母が二十五兩、親父が二十五兩呉れましたからそれを持つて此家へ逃げて来ました』



『夫から何うした』  
『親父が金持でございませうから役人の方は金子を使つて怪俄位のごとで済ました』

『イエ牢破りと申しますと人間が悪うございませうが一遍でございませう』  
『度々遣られて堪るもんか面白い男だ』  
とお酒を飲んで居ると太鼓がドン／＼聞える。  
『太平さん何だい』  
『あれは晴天三日の相撲があります、眞實の相撲では

ありません、素人相撲で土地の博奕打が勸進元になりまして相撲を取りませう、木戸の上り高の半分を人丸様へ奉納しますが、其處で木戸銭の勘定をするといつて博ちを打ちませう、お客さん方相撲を見物にいらつしちやア如何でございませう』  
『商賣人の相撲より素人相撲は面白くつて好い』  
『私もお供をいたしたうございませうが、叔父が表へ出

げませう、そこでア、さうかと云つちやア不可ません是非一緒に來いと無理に連れつて下さいし』  
『成程好い工夫だ、何しろ出掛けやう』  
と云ふので梅野を始めとして一同出る、門口へ太平が来た。  
『御悠然見物を、お歸りをお待ち申します』  
『太平さん、皆んな飲み疲れたによつて、案内旁々一緒に出で』

『へエ思召は有難う存じませうが相撲は嫌ひでございませうから御免を蒙ります』  
長兵衛は甘く云つて居やアがと思つて  
『好きも嫌ひもあるもんか何でも一緒に出で』  
と云はれて、悦んで太平はついて参りました、やがて場所へ來て酒を飲んで見て居ると、四五番勝負があつた。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める川崎巡回文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

# かつを 塩から



魚問屋 店理代平命生本日本最大優最 榮盛賀志 (三一二電)目丁四平

## 外科

X光線科  
性病科  
外科科  
入院隨意

平町田町 安齊外科醫院 電話四七五番

## 吸入用酸素

純度99%  
モノサシ  
ス  
ハカリ  
器量計  
體溫計  
寒暖計

●秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス  
●寫眞材料一式販賣致シマス

## 關内藥局

電話四〇番

石炭  
コークス  
炭  
玉炭

平驛前 阿部石炭商店 電話三七番

## 吉田眼科病院

平瀬屋町電話六八番 醫學士吉田久雄